

# 水戸市における東京オリンピック・パラリンピック関連施策一覧

2018年12月3日現在

施策体系	施策名	施策内容	期間	場所
<b>(1) 事前キャンプ等の誘致</b>				
①誘致活動 ②体育施設の有効活用 ③市民の機運醸成、支援ボランティアの育成等 ④波及効果の高い関連施策の検討・推進				
	事前キャンプの誘致	事前キャンプについて、詳細な受入れ内容・条件等の十分な調整を行うことを前提とし、可能な範囲で受け入れに向けた相談等(誘致)を実施	随時	市内体育施設
	ベルギーオリンピック委員会等と事前キャンプに関する基本合意書締結	ベルギーオリンピック委員会、日本オリンピック委員会、茨城県、水戸市及びひたちなか市の5者で、東京オリンピックの事前キャンプに関する基本合意書を締結	2018年12月1日	水戸プラザホテル
	東京2020参画プログラムへの参加【応援プログラム】	多くの人が参画し、様々な組織や団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持てるよう、応援プログラム(会場関連地以外)の活用を周知・促進【認証5件】	2017年10月～	市内一円
	東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーへの協力	市民の機運醸成を図るため、オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグ、大会関連パネルなどを展示	2017年9月11日(三の丸臨時庁舎)、2017年9月24日～29日(県庁)	三の丸臨時庁舎、県庁
	市ホームページ等による周知・PR	東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成に向け、のぼり旗の設置、市ホームページへウェブバナー掲載	のぼり旗2017年4月～ウェブバナー2018年11月～	のぼり旗(市内体育施設等)ホームページ
	オリンピック支援自販機の導入	オリンピック支援自販機の売上げの一部を日本オリンピック委員会に寄付することにより、アスリート強化支援及びオリンピック・ムーブメントを推進	2017年4月1日～2018年12月31日(三の丸臨時庁舎)、2018年12月～(本庁舎)	三の丸臨時庁舎、本庁舎
	都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクトへの参加	使用済み小型家電を回収し、抽出したリサイクル金属でメダルを製作	2017年4月1日～2019年3月31日	市内一円(市民センター等に設置したボックスで回収)
<b>(2) スポーツ文化の振興</b>				
①「するスポーツ」のさらなる充実 ②「見るスポーツ」の伸展 ③オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室の開催 ④人材の育成				
	千波湖スポーツフェスティバル【応援プログラム】	千波湖周辺の自然に親しみながらスポーツ・レクリエーションを通して楽しく健康づくりを図る。	2017年10月15日 2018年10月14日	千波公園ふれあい広場 偕楽園公園四季の原

## 水戸市における東京オリンピック・パラリンピック関連施策一覧

2018年12月3日現在

施策体系	施策名	施策内容	期間	場所
<b>(2) スポーツ文化の振興</b>				
①「するスポーツ」のさらなる充実 ②「見るスポーツ」の伸展 ③オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室の開催 ④人材の育成				
	スポーツ講演会【応援プログラム】	オリンピック(競泳)で4つのメダルを獲得した松田丈志氏(2017年度)のスポーツ講演会を実施	2017年11月25日	総合教育研究所
	スケート教室【応援プログラム(2018年度)】	オリンピック(フィギュアスケート)に出場した安藤美姫氏(2017年度), 村上佳菜子氏(2018年度)のスケート教室を実施予定	2018年1月13日, 2019年3月2日(予定)	笠松運動公園
	パブリックビューイング【応援プログラム】	平昌冬季オリンピックの男子スピードスケート1,000mに出場する小田卓朗選手(市内の企業に所属)と一緒に応援	2018年2月23日	市国際交流センター
<b>(3) 国際交流の推進</b>				
①スポーツ教室等の開催 ②国際理解講座等の開催 ③日本文化の体験・紹介 ④次代を担う子どもたちのコミュニケーション力の向上				
	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	機運の醸成及び国際・異文化交流等を図るため、オリンピック・パラリンピック教育を推進	2017年9月20日(下大野小学校) 2018年10月3日(河和田小学校)	下大野小学校, 河和田小学校
	小学生によるマスコット投票【応援プログラム】	マスコットの選定では、史上初の試みとして全国の小学生による投票を実施することから、本市も投票宣言を行い、28校10,848人で投票を実施【応援プログラム】	2017年12月11日～2018年2月22日(投票)	市内小学校
	beyond2020プログラムへの参加	日本文化の魅力発信とあわせて、外国人又は障害者に配慮した取組を行う事業においてbeyond2020プログラムの活用を周知・促進【認証2件】	2018年11月～	市内一円
<b>(4) インバウンド観光の振興</b>				
①オリンピック観戦に来訪する観光客の本市への誘客 ②おもてなしの機運の醸成 ③都市サインの多言語化 ④Wi-Fi環境の整備促進				
	都市サインの多言語化	弘道館・水戸城跡周辺地区の案内板整備(水戸学の道等)において、5言語化(日本語, 英語, 中国語簡体(中国等), 中国語繁体(台湾等), 韓国語)を実施	2018年3月～	弘道館・水戸城跡周辺地区
	Wi-Fi環境の整備	弘道館・水戸城跡周辺地区の二の丸展示館において、観光客向けのWi-Fi環境を整備	2018年3月～	二の丸展示館